

# 令和4年度 予算概要

当改良区は平成31年度（令和元年度）の土地改良法改正に伴い複式簿記会計を導入しましたが、令和4年度予算は、法改正の完全施行に沿って、新たな土地改良区会計基準に従って、予算編成を行いました。

令和4年度収支予算は、総括で14億6290万円、一般会計で14億3525万円です。一般会計で比較すると前年度の18億3573万円に対し、4億48万円、22%の減となりました。主な要因は、用排水路移設補償工事費2億6700万円の減、定年退職者減少及び人件費減少による一般管理費1億40万円の減、新会計基準適用に伴う基金積立重複額除外による9221万円の減などです。

## ——予算編成の重点——

### 1. 事業展開

#### (1) 圃場整備の推進

事業2年目に入った小杉地区の県営経営体育成基盤整備事業が事業費5000万円、この分担金500万円を負担します。また、低コスト圃場整備事業のモデルとするため、上早通地区で水利施設等保全高度化事業を施行し、事業費200万円を実施計画を策定します。

#### (2) 用排水施設の計画的な補修更新

施設の年度別整備計画に基づき、優先度の高い施設から事業化しています。本所排水路護岸改修のため県営基幹水利施設ストックマネジメント事業で事業費1億3000万円、この分担金1950万円を負担します。また、団体営基幹水利施設ストックマネジメント事業等で、両川揚水機場・早通排水路・清五郎上流排水路・大淵排水路上流部等の補修を事業費3570万円で行います。

#### (3) 適切な農業水利施設の維持管理

電気料金の急激な高騰に対応して、揚水機場や臨時ポンプの電気料を前年実績額の3割増に対応できるよう、増額計上しています。

### 2. 事務運営

#### (1) 人件費

定年退職者を新人で補充し人件費を3000万円削減しつつ業務体制を維持する計画としました。さらに、多面的交付金事務受託の受託費率を引き上げ、人件費に充当できる金額を800万円増額計上しました。

#### (2) 分区運営費

地元で徴収する入作分区費に代わり、本部から工区経由で分区へ支出する分区運営費を、本年度から4144万円計上しました。

### 3. 収入計画

#### (1) 組合費賦課金等

令和4年度の賦課面積を4142ヘクタール（前年度比約4ヘクタール減）と試算し、賦課金単価を前年度同様10アール当たり11,500円に据え置きました。また、その他の収入計画は前年度までの収入実績を踏まえ、決済金2500万円、他目的使用料2860万円、払い下げ4500万円としました。

以上の様に、必要な事業展開と、事務運営や予算編成を改善し、賦課金の前年水準継続と財政の持続性を保っています。今後とも持続可能な事業展開と健全な財政運営により、地域農業の発展に貢献し組合員のみなさまの負託に応えてゆく所存です。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 令和4年度 科目別総予算額

